

第2次沖縄県環境基本計画進捗管理票【公表用】

【基本目標】	3-6	環境と経済が調和する社会づくり	【沖縄21世紀ビジョン実施計画】	
【基本施策】	3-6-1	環境保全のための共通的・基盤的施策	施策展開	1-(1)-エ 自然環境の適正利用
【施策展開】	①共通的・基盤的施策の総合的な実施による計画の推進		施策	①環境影響評価制度の強化
【主な取組】	小規模事業における環境配慮ガイドラインの策定			
【担当部課】	環境部 環境政策課			

1 取組（事業）の進捗状況（進捗率）

取組の内容		小規模事業における環境配慮ガイドラインの策定								
年度別計画							実施主体	H33年度末目標値	平成29年度	
分類	29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	34～ (2022)			進捗状況	活動概要
計画	ガイドラインの策定						県	ガイドラインの策定	大幅遅れ	九州各県等の先進事例を基に、ガイドラインのあり方について検討した。

2 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	実績値					10年後の目標
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1 環境配慮の実施率(ガイドライン対象事業のうち環境配慮を行った事業の割合)	-	-	-	-	-	-	-
2							
状況説明	平成27年度に把握した小規模事業に対する先進的な取組事例を参考にし、平成28年度、平成29年度は沖縄県の地域特性にあったガイドラインのあり方を検討した。ただし、小規模事業における環境配慮ガイドラインの策定にあたっては、公共事業を実施する事業部局への調整が必要であり、慎重に対応を検討している。						

3 取組の検証

(1) 推進上の留意点（内部要因、外部環境など）
<p>○環境配慮ガイドライン(素案)の作成に必要な人的資源が不足しているため、執行体制の改善等が必要である。</p> <p>○小規模事業における環境配慮ガイドラインの策定は、新たな手続きの導入であることから、開発にかかる既存手続との整合や公共事業を実施する事業部局の理解を得ることが必要である。</p>
(2) 改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点）
<p>○環境配慮ガイドライン(素案)の作成に投入できる人的資源を確保するために、執行体制等について検討する。</p> <p>○環境配慮ガイドライン(素案)を作成し、策定にむけて関係部局と協議する。</p> <p>○小規模な事業においても速やかに環境配慮を求めると必要があることから、新たな手続の導入に代わる取組も検討する。</p> <p>○環境影響評価法及び沖縄県環境影響評価条例の対象とならない開発事業においても、環境配慮が求められていることから、条例等による環境影響評価制度の強化を検討する。</p>

4 取組の改善案

<p>○環境配慮ガイドライン(素案)の作成に必要な人的資源を確保するため、執行体制等を見直し、引き続き沖縄県に適した小規模事業における環境配慮ガイドライン(案)の策定に取り組むこととする。</p> <p>○マトリクス組織等を活用し、小規模事業における環境配慮ガイドラインの必要性について、事業部局の理解が得られるようにする。</p> <p>○第2次沖縄県環境基本計画【改訂版】に示されている「環境への配慮指針」の活用を検討する。</p> <p>○従前よりも小規模な事業についても対象事業として環境影響評価が実施されるよう条例等による環境影響評価制度の強化を図る。</p>

第2次沖縄県環境基本計画進捗管理票【公表用】

【基本目標】	3-6	環境と経済が調和する社会づくり	【沖縄21世紀ビジョン実施計画】	
【基本施策】	3-6-1	環境保全のための共通的・基盤的施策	施策展開	-
【施策展開】	①共通的・基盤的施策の総合的な実施による計画の推進		施策	-
【主な取組】	環境関連計画の策定・推進・見直し			
【担当部課】	環境部 環境政策課			

1 取組（事業）の進捗状況（進捗率）

取組の内容		環境問題の変化や新たな環境問題に対応するため、環境保全に関する計画の施策・推進・見直しを図る。								
年度別計画							平成29年度			
分類	29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	34～ (2022)	実施 主体	H33年度末 目標値	進捗 状況	活動概要
計画	計画の策定・推進・見直し						県	環境関連計画の 推進・見直し	概ね順調	【平成28年度に策定した主な計画】 ○第12次鳥獣保護管理事業計画(平成29年3月) ○沖縄県災害廃棄物処理計画(平成29年3月)
										【平成29年度に策定した主な計画】 ○本庁行政棟においてISO14001を認証取得(平成30年2月)

2 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	実績値					10年後の目標
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-
状況説明							

3 取組の検証

(1) 推進上の留意点（内部要因、外部環境など）
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄県では水質汚濁、大気汚染、廃棄物といった身近な環境問題から、生物多様性の保全、地球温暖化問題など地球規模の環境問題と広範囲にわたっており、それに対する県民の関心等も多岐にわたっている。 ・本計画の目標達成に向け、県民の理解を図る必要がある。 ・沖縄21世紀ビジョン実施計画等の見直しや本県の環境および社会経済の状況等の変化を踏まえ、必要に応じ計画の見直しを行う必要がある。
(2) 改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点）
<ul style="list-style-type: none"> ・沖縄21世紀ビジョンの基本理念の実現に向け、各種環境関連計画を推進する。 ・県民意見募集を実施したが、意見がなかったため、引き続き県民に働きかける必要がある。 ・本計画の改定案に対する意見を募集し、県民の意見がより反映されるようにする。

4 取組の改善案

<ul style="list-style-type: none"> ・計画を実効性のあるものとするため、PDCA等による適切な進捗管理を行うとともに、各種計画についての周知及び理解を図る。 ・環境関連計画の策定、見直し及び進捗管理の結果については、ホームページ等で公表し、県民意見公募（パブリックコメント）等を実施する。 ・必要に応じて計画の見直しを行う。
--

第2次沖縄県環境基本計画進捗管理票【公表用】

【基本目標】	3-6	環境と経済が調和する社会づくり	【沖縄21世紀ビジョン実施計画】	
【基本施策】	3-6-1	環境保全のための共通的・基盤的施策	施策展開	- -
【施策展開】	①共通的・基盤的施策の総合的な実施による計画の推進		施策	-
【主な取組】	環境影響評価審査調整事業			
【担当部課】	環境部 環境政策課			

1 取組（事業）の進捗状況（進捗率）

取組の内容		環境影響評価法及び沖縄県環境影響評価条例に基づき、事業の実施前に事業者が作成する環境影響評価図書や、実施した環境保全措置の効果について事業の着手後において検証するため等に行う事後調査の報告書に対して、知事が環境保全の見地からの意見を述べるにあたり、図書及び報告書の審査を行う。								
年度別計画							実施主体	H33年度末目標値	平成29年度	
分類	29 (2017)	30 (2018)	31 (2019)	32 (2020)	33 (2021)	34～ (2022)			進捗状況	活動概要
計画	環境影響評価に係る審査指導						県	-	順調	平成29年度に提出された環境影響評価図書及び事後調査報告書計13件について審査指導を行った。

2 成果指標の達成状況

成果指標	基準値	実績値					10年後の目標
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
1	-	-	-	-	-	-	-
2	-	-	-	-	-	-	-
状況説明	-						

3 取組の検証

(1) 推進上の留意点（内部要因、外部環境など）

- 環境影響評価手続が適切に実施されるよう、事業計画段階の早期から事業者と調整を行う必要がある。
- 事後調査が適切に実施され、報告書が提出されるよう事業者に対し指導・助言を行う必要がある。

(2) 改善余地の検証（取組の効果の更なる向上の視点）

- 県内で実施予定の大規模開発事業等の計画について、情報を収集しておく必要がある。
- 環境影響評価手続を経た事業については、機会のあるごとに事後調査の進捗を情報収集しておく必要がある。

4 取組の改善案

- 引き続き、環境影響評価制度について、事業者に対して制度の周知を十分図り、必要な指導・助言等を行うとともに、マスコミ報道等から情報収集を行い、早期からの事業者との調整に努める。